



令和2年10月6日

No.33号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸 哉

<児童数 205名>

TEL 623-6019

「大いちよう」の下に、集い学ぶ ～いちよう大運動会・110歳に向かって～



<R2.10.2 撮影>



本校のシンボル「大いちよう」。

昨年8月に大きく剪定しました。名付けて「令和元年の大剪定」です。

前校長の鈴木一尋先生（現東北文教大学講師）は、昨年の創立記念式にて、剪定の意義を4つ述べられ、その後も気にかけて見守ってられました。『意義①伸びた枝を整える。意義②実の数を減らして一つ一つのみを大きくする。意義③日当たりと風通しをよくして病気を防ぐ。意義④「新芽」を出させて若返りを図る。剪定は、木の元気を取り戻すためにはなくてはならない作業なのです。』と結ばれています。

230余年の歴史を持つ「大いちよう」は見事に若返り、生き生きと立ち、私たち「いちようの子」と「いちようの教職員」を見守ってくれています。誠にうれしい限りです。

実もつけています。この「大いちよう」の下に集い、10/17（土）は「いちよう大運動会」です。

<R2.4.27>



<R2.5.26>



<R2.7.3>



<R2.9.30>

